



公益財団法人豊田市文化振興財団

## 第8期 令和7年度 第3回青少年育成委員会

日時 令和8年2月21日（土）午前10時から  
会場 豊田市青少年センター 会議室A

### 次 第

#### 1 主催者あいさつ

#### 2 議題

- (1) 青少年育成委員会 前回の会議録について
- (2) 令和7年度モニタリング事業評価（後期分）について
- (3) 令和8年度青少年部事業計画（案）について

#### 3 その他

- (1) 令和8年度第1回青少年育成委員会の日程について  
候補日／5月16日⊕・17日⊗・23日⊕・24日⊗・30日⊕・31日⊗  
時間／午前10時 or 午後2時  
会場／青少年センター  
内容／令和7年度事業報告・令和8年度事業視察など
- (2) 施設からの諸連絡

【目次】

議題（１）青少年育成委員会 前回の会議録について……………別冊

議題（２）令和７年度モニタリング事業評価（後期分）について……………別冊

議題（３）令和８年度青少年部事業計画（案）について……………別冊

【着座表】（敬称略）

司 会

産業文化センター  
中根史義

委員長

大村 恵

副委員長

斉藤茂美

青少年部

永坂正和

委 員

宇井一弘

委 員

野畑清敬

青少年C

所 長  
近藤雅子

委 員

白川陽一

委 員

稗田 猛

副所長  
松浦友洋

委 員

西本昌司

総合野外C

所 長  
山中浩之  
副所長  
山村聡志

オブザーバー

専務理事 副理事長 こども・若者政策課長 学び体験推進課長  
藤本 聡 杉山基明 近藤啓史 藤田憲彦

産業文化C

所 長 荘田元宣 係 長 水野路子

※白川委員は欠席

## 令和７年度 モニタリング事業評価（後期分）

### （目次）

- 1 青少年センター
  - 活動支援事業
  
  - サークル・グループ文化祭
  
- 2 野外センター
  - モニタリングなし
  
- 3 産業文化センター
  - いろいろプラスネタリウム②  
「上坂監督が語る月、火星、そしてその先へ」
  
  - ものづくりワークショップ（内部講師）  
「繭ランタンを作って光らせよう！」
  
  - いろいろプラスネタリウム③  
「ほろよいプラネタリウム」

令和7年度 モニタリング事業 概要

事業名	活動支援事業		施設名	青少年センター
事業区分	形態別	<input type="checkbox"/> 受託 <input checked="" type="checkbox"/> 共催（共催：豊田市）	<input type="checkbox"/> 自主	
開催日時	令和7年4月～令和8年3月			
開催会場	青少年センター 1階サロン			
対象	高校生・大学生を中心とした青少年		定員	— 人
予算 (事業全体)	内訳	金額	主な用途	合計  1,135,000 円
	市費負担分	1,135,000 円	・イベントおよび展示物 品、機材使用料 ・イベント出演者謝礼	
	参加者負担分	0 円		
	財団負担分	0 円		
	その他	0 円		
事業のねらい (目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者に活動表現の場を提供し、自己成長および社会参加の一步につなげる。</li> <li>・若者の居場所・活動の場として、豊田市青少年センターの存在を多くの若者に知ってもらう。</li> <li>・ステージで活躍している学生の姿を、同世代の若者が目にすることで、若者の社会参加に対する意欲、関心を高める。</li> </ul>			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者による、サロンでのパフォーマンス、ワークショップ、展示の実施</li> <li>・若者向けのイベント、ワークショップ等の実施</li> </ul>			
事業の広報・PR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報とよたへの掲載</li> <li>・財団をはじめとした豊田市内の施設へチラシ配布</li> <li>・市内外の高校と大学、及びゼミへチラシ配布</li> <li>・ホームページやSNSでの広報</li> </ul>			
重点視察項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の居場所・活動の場として、来場者の若者に青少年センターをPRできているか。</li> <li>・出演している若者の自己表現の場、自己成長の場となっているか。</li> </ul>			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本トップの筋肉 伊吹主税がやってくる！（12月13日（土）午後2時～4時、1階サロン）をモニタリングしていただきたい。</li> </ul>			

## 令和7年度 活動支援事業 ビッグイベント①

「日本トップの筋肉 <sup>いぶきちから</sup>伊吹主税がやってくる!!～魅せる筋肉・語るボディ～」

日 時：令和7年12月13日（土）午後2時～午後4時

会 場：豊田市青少年センター サロン

参加者：およそ200名（同日開催イカロス体験会と体成分測定会含む）

出演者：伊吹主税（メンズフィジーク日本チャンピオン）

宮次大輔（メンズフィジーク愛知チャンピオン）

内 容：サロンの周知イベント。（公開対談、ポージング指導、お姫様抱っこなど）

### 《参加者の声》

- ・伊吹さんや宮次さんのお話がとても面白く、普段聞けないトレーニングや生活習慣の裏側まで知ることができて勉強になった。
- ・ポージング解説がわかりやすく、実際に間近で見られたことで理解が深まった。普段見る機会のない競技を知るきっかけになったという声もあった。
- ・和久田さんの進行、伊吹さんの佇まい、宮次さんの若々しさがマッチしていて素晴らしかったという評価が寄せられ、全体の構成が分かりやすかったという意見が多かった。
- ・「また参加したい」「伊吹さんにまた来てほしい」など、継続開催を望む声も寄せられた。

### 《担当者所感》

本事業は、昨年度サロンでイベントを開催した青少年（宮次良輔さん）の「憧れの選手を豊田市に招きたい」という夢を実現する形で企画したものであり、青少年の挑戦や夢の後押しができたことに、担当者として大きなやりがいを感じた。当日は、会場の雰囲気も非常に良く、参加者の楽しんでいる様子が印象的で、担当者としても企画を実施して良かったと強く実感できた。アンケート結果からも「とても良かった」「また参加したい」という回答が多数を占めており、参加者満足度の高いイベントとなったことが裏付けられた。

さらに、出演者のトークや実演を通して、努力の積み重ねや日々の生活の向き合い方など、若者にとって学びのある内容が自然に伝わっていた。筋力トレーニングという専門分野でありながら、初心者でも分かりやすく、かつ興味を持てる構成としたことで、観客全体が集中して楽しめた点も成果であると考えます。

今後も青少年自身の「やってみたい」「会ってみたい」という想いを拾い上げ、若者の夢や挑戦につながる事業を継続して企画したい。また、若者が自ら企画・運営に関わる機会を増やすことで、豊田市青少年センターが“夢をかなえる場”として魅力を高めていくことができると感じた。



## 令和7年度 モニタリング事業 概要

事業名	サークル・グループ文化祭		施設名	青少年センター
事業区分	形態別	<input type="checkbox"/> 受託	<input checked="" type="checkbox"/> 共催（共催：豊田市）	<input type="checkbox"/> 自主
開催日時	令和8年1月18日（日） 午前10時～午後4時			
開催会場	産業文化センター 小ホール、多目的ホール、ピロティ、産業交流コーナー、1階サロン他			
対象	青少年センター登録サークル・グループ、青少年育成団体、市内の高校・大学等		定員	— 人
予算 (事業全体)	内 訳	金 額	主な用途	
	市費負担分	840,000 円	手数料、消耗品、使用料等	
	参加者負担分	0 円		
	財団負担分	0 円		
	その他	0 円		
			合 計	
			840,000 円	
事業のねらい (目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年センターを利用する団体が協力し文化祭を行うことで、青少年の自主性を育て、社会参加や社会参画の一步につなげる</li> <li>・サークル・グループの日頃の活動を広く市民へ PR するとともに、新規団体やメンバーの獲得につなげる</li> <li>・学生や若者の活動拠点としての青少年センターを PR する</li> </ul>			
事業の内容	ステージパフォーマンス（バンド・ダンス）、ブース企画、スタンプラリー、展示 等			
事業の広報・PR	広報とよた、財団施設へのチラシ配架、SNS による PR			
重点視察項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者同士が交流できているか</li> <li>・新たな気づきや視点に触れる機会を与えられているか</li> <li>・自己実現につながる機会を与えられているか</li> </ul>			
特記事項				

## 令和7年度 サークル・グループ文化祭

日時 令和8年1月18日(日) 午前10時～午後4時  
対象 青少年センター登録サークル・グループ、青少年育成団体、市内高校、大学等  
会場 産業文化センター、青少年センター  
参加団体 30団体  
来場者 1,450名  
内容 ステージパフォーマンス(バンド・ダンス)、ブース企画、スタンプラリー、展示、菓子まき等

### 《参加者アンケート》

- ・色々な体験ができてよかった。
- ・ウォークラリーをしながら、色々まわられて楽しかった。
- ・体験館に遊びに来たらやっていた。楽しく過ごせました。
- ・菓子まきが楽しみで来た。

### 《担当者所感》

団体で協力し文化祭をつくりあげることで、青少年の自主性を育て、社会参加の一步につなげることを目的に開催した。そのため、参加団体で実行委員会を作り事前に4回の会議を行った。話し合いで「コラボステージ」(ダンス、バンド、アカペラ)と「菓子まき」を新たに実施することとなった。その成果もあり当日は、団体が主体となり文化祭を進行することができた。

また、参加団体も、青少年センターの登録団体以外にも市内高校や近隣大学等に出演いただけたことで、青少年の活動拠点としての認知度向上にもつながった。



令和7年度 モニタリング事業 概要

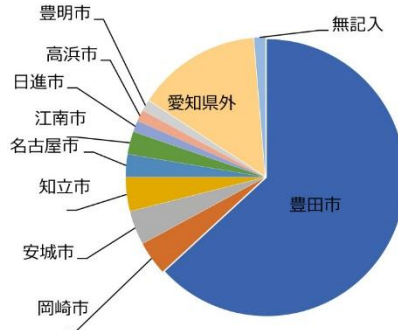
事業名	いろいろプラスネタリウム② 「上坂監督が語る月、火星、そしてその先へ」		施設名	豊田産業文化センター (とよた科学体験館)
事業区分	形態別	<input checked="" type="checkbox"/> 受託 <input type="checkbox"/> 共催 (共催：豊田市) <input type="checkbox"/> 自主		
開催日時	令和7年11月9日(日) 16:00~17:30			
開催会場	とよた科学体験館プラネタリウム			
対象	一般向け		定員	120人
予算 (事業全体)	内 訳	金額	主な用途	
	市費負担分	254,700円	謝礼(180,000円) PRチラシ制作等(11,000円)他	
	参加者負担分	60,000円	チケット500円×120人 ※全額市へ納入	
	財団負担分	円		
	その他	円		
			合計	254,700円
事業のねらい (目的)	プラネタリウムならではのテーマやタイムリーな話題を取り上げ、幅広い年代向けにライブ感を活かした特別投映を開催する。			
事業の内容	当館でも上映した上坂浩光監督作品「HAYABUSA」や「まだ見ぬ宇宙へ」等の番組制作を通して、上坂監督が昨今の宇宙開発に込めた思いを語るトークショー。また当日限定で、上坂監督2作品の特別上映も行う。			
事業の 広報・PR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業チラシ(財団各施設・館内配布)</li> <li>・当館のHP、LINE@登録者</li> <li>・広報とよた</li> </ul>			
重点視察項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容はタイムリーな話題であり、わかりやすいか</li> <li>・聴講者の年齢層や知的好奇心との調和は取れているか</li> <li>・プログラム全体の構成はよかったか</li> </ul>			
特記事項	上坂浩光氏:科学映像やCM、ゲーム等の映像など、さまざまな分野の映像制作を行ってきたが、『HAYABUSA -BACK TO THE EARTH-』の制作をきっかけに、宇宙や生命をテーマにしたフルドーム映像作品を数多く発表し、日本のみならず海外でも数々の賞を受けている。また2025大阪・関西万博JAXAブースにてLEDカーブビジョン映像「月に立つ。その先へ、」の制作を行った。			
事務局欄				

「上坂監督が語る月、火星、そしてその先へ」2025年11月9日（日）アンケート集計

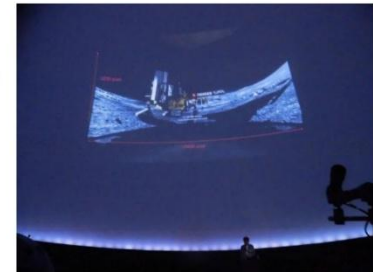
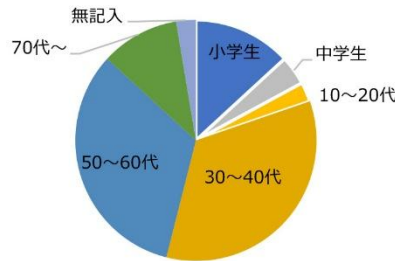
回答数：76枚／参加者：80人

95 %

どちらから		
豊田市		48
岡崎市		3
安城市		3
知立市		3
名古屋市		2
江南市		2
日進市		1
高浜市		1
豊明市		1
愛知県外		11
無記入		1
合計		76



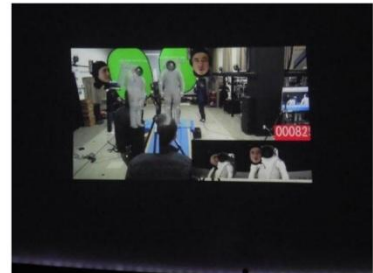
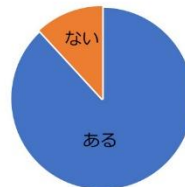
年齢		
小学生		10
中学生		3
10～20代		2
30～40代		26
50～60代		25
70代～		8
無記入		2
合計		76



1 プラネタリウムに来たことはありますか？

ある	67
ない	9
合計	76

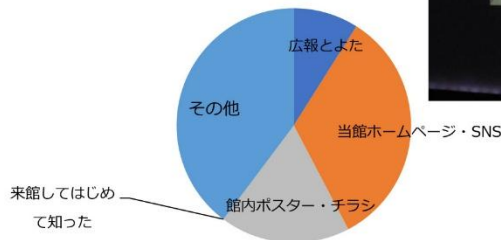
※ある：～10回目 (29) たくさん・10回以上 (34)



2 何で知りましたか？ (複数回答可)

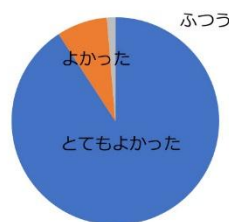
広報とよた	7
当館ホームページ・SNS	26
館内ポスター・チラシ	14
来館してはじめて知った	0
その他	31
合計	78

※その他：家族知人(7)監督SNS(6)博物館宇宙展(5)DM(5)いこまいる(3)きずなネット、コンサート挟みこみチラシ等



3 事業はいかがでしたか？

とてもよかった	69
よかった	6
ふつう	1
あまりよくなかった	0
よくなかった	0
合計	76



令和7年度 モニタリング事業 概要

事業名	ものづくりワークショップ（内部講師） 「繭ランタンを作って光らせよう！」		施設名	豊田産業文化センター （とよた科学体験館）
事業区分	形態別	<input checked="" type="checkbox"/> 受託 <input type="checkbox"/> 共催（共催：豊田市） <input type="checkbox"/> 自主		
開催日時	令和7年11月29日（日）15:00～17:00			
開催会場	とよた科学体験館ワークショップルーム			
対象	小学3年生～中学3年生と保護者		定員	12組
予算 （事業全体）	内 訳	金 額	主な用途	
	市費負担分	24,000円	試作を含む材料費	
	参加者負担分	12,000円	参加費1,000円×12人 ※全額市へ納入	
	財団負担分	0円		
	その他	0円		
			合 計	24,000円
事業のねらい （目的）	主に小・中学生向けに科学やものづくりの楽しさを体験できる実験・工作教室を開催する。蚕の繭を使ったランタンの製作を通して、ものづくりの楽しさを体験する機会を提供する。			
事業の内容	蚕の繭を使ってランタンを製作する。ワークショップ終了後、産業文化センターで点灯式を行う。（産業文化センター40周年記念事業）			
事業の 広報・PR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業チラシ（財団各施設・館内配布）</li> <li>・当館のHP、LINE@登録者</li> <li>・広報とよた</li> </ul>			
重点視察項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味を持たせる内容になっているか</li> <li>・体験した参加者の様子</li> <li>・参加者との講師との対話</li> </ul>			
特記事項				

事務局欄	
------	--

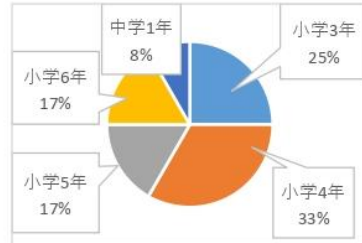
# ものづくりワークショップ 「繭ランタン作って光らせよう！」アンケート

R7年11月29日（土）開催

回答人数12人/参加人数12人【回答率100%】

## 学年内訳

小学3年	3
小学4年	4
小学5年	2
小学6年	2
中学1年	1
合計	12



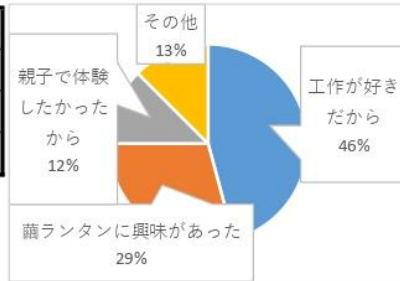
## 産業文化センターと加茂蚕糸の話



## 1 参加理由(複数回答あり)

工作が好きだから	11
繭ランタンに興味があった	7
親子で体験したかったから	3
その他	3

- ・楽しそうだったから：2
- ・カイコが好きだから



## 繭を割いて繭花を作る



## 2 来館経験について

はじめて	0
来たことがある	12

- ・プラネタリウム：10
- ・サイエンスショー：9
- ・ワークショップ：11



## 繭を切り貼りして動物を作る



## 3 お子様にとってどうでしたか

おもしろかった	11
ふつう	0
むずかしかった	1



## 組み立ててランタンにする



## 4 説明について

よくわかった	10
ふつう	2
わかりにくかった	0



## 終了後は産文の点灯式に参加



令和7年度 モニタリング事業 概要

事業名	いろいろプラスナトリウム③ 「ほろよいプラナトリウム」		施設名	豊田産業文化センター (とよた科学体験館)
事業区分	形態別	<input checked="" type="checkbox"/> 受託 <input type="checkbox"/> 共催 (共催：豊田市) <input type="checkbox"/> 自主		
開催日時	令和7年12月12日(金) 19:00~20:30			
開催会場	とよた科学体験館プラナトリウムおよび産業文化センター多目的ホール			
対象	20歳以上		定員	70人
予算 (事業全体)	内訳	金額	主な用途	
	市費負担分	149,000円	謝礼(110,000円) ホール使用料等(21,000円)他	
	参加者負担分	140,000円	受講料500円+飲食チケット1,500円×70人 ※受講料のみ市へ納入	
	財団負担分	円		
	その他	円		
			合計  149,000円	
事業のねらい (目的)	プラナトリウムならではのテーマやタイムリーな話題を取り上げ、幅広い年代向けにライブ感を活かした特別投映を開催する。			
事業の内容	星とワインを話題にしたサイエンスカフェ形式の大人向けイベント。 今回は「皆既日食」をテーマに、天文研究家浅田英夫氏と天文カメラマン谷川正夫氏をお招きし、大人ならではの楽しみ方を語り合う。ウエルカムドリンク及びワンドリンク付き。			
事業の 広報・PR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業チラシ(財団各施設・館内配布)</li> <li>・当館のHP、LINE@登録者</li> <li>・広報とよた</li> </ul>			
重点視察項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆既日食について理解し、魅力ある話題であったか</li> <li>・新たな視点で、天文に興味・関心を持てる内容としているか。</li> <li>・プログラム全体の構成はよかったか</li> </ul>			
特記事項				

事務局欄	
------	--

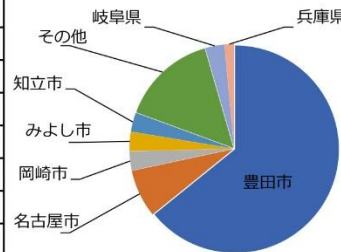
「ほろよいプラネタリウム」2025年12月12日（金）アンケート集計

参加者：69人（招待：6人含む）

申込72件、アンケート回答39件

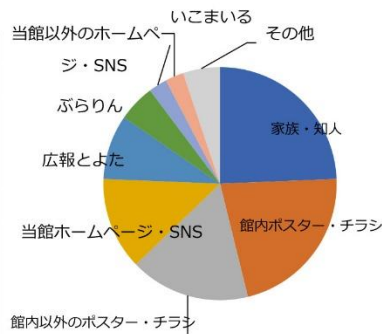
どちらから

豊田市	43
名古屋市	5
岡崎市	2
みよし市	2
知立市	2
その他	10
岐阜県	2
兵庫県	1
合計	67



何で知りましたか？（複数回答可）

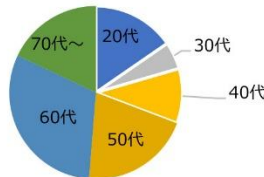
家族・知人	19
館内ポスター・チラシ	17
館内以外のポスター・チラシ	13
当館ホームページ・SNS	10
広報とよた	7
ぶらりん	4
当館以外のホームページ・SNS	2
いこまいる	2
その他	4
合計	78



※その他：学び体験推進課、仕事の関係、庁内メール、東海プラネの会

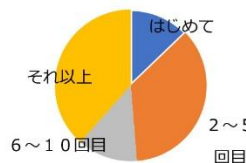
年代

20代	6
30代	2
40代	4
50代	8
60代	12
70代～	7
合計	39



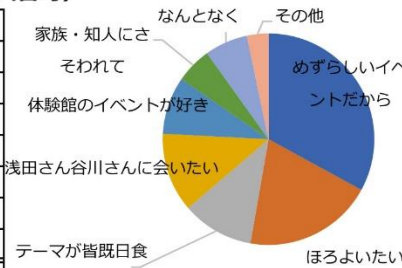
体験館に来たことはありますか？

はじめて	5
2～5回目	14
6～10回目	5
それ以上	15
合計	39



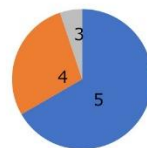
参加してみようと思った理由は？（複数回答可）

めずらしいイベントだから	30
ほろよいたい	18
テーマが皆既日食	10
浅田さん谷川さんに会いたい	11
体験館のイベントが好き	8
家族・知人にさそわれて	5
なんとなく	6
その他	3
合計	91



満足度

5	26
4	11
3	2
2	0
1	0
合計	39



## 令和8年度 事業計画書(案) (青少年部抜粋版)

### 1 基本方針

- (1) 安心安全な施設づくりを土台に、「育成段階に応じた事業展開」、「多様な主体との共働の推進」及び「活躍機会の提供」を推進します。  
 また、豊田市国際交流協会との合併を機に、多文化共生や共創社会、合理的配慮を意識した事業展開に取り組みます。  
 豊田市こども・若者計画の基本理念である「こどもの笑顔があふれるまち とよた」を目指し、こどもや若者、そして青少年の健全育成に関わる全ての人の「ウェルビーイング」を追求する事業展開や施設運営を実施します。
- (2) 青少年センターでは、若者の育成段階に応じた事業体系において「若者の社会参加の促進」、「若者の自立支援」、「居場所づくり」及び「情報発信」の4本柱の事業を通じ、こどもや若者が文化や出自の違いに関係なく、安心して自分らしく生きることができる環境を目指します。また、活動の機会を求める若者の要望に応えるため、1階サロンを、若者の活動発表・作品展示の場として多彩なジャンルのイベントに積極的に活用します。
- (3) 総合野外センターでは、豊田市子ども条例で子どもが豊かに育つ権利として自然に親しむことが保障されていることを特に意識して、六所山とその周辺の自然環境の中での野外活動を通じ、遊び、学び、体験の機会と場を提供して、青少年の健全な育成と指導者の技量向上支援に努めます。そのために山遊び初心者から冒険少年まで、それぞれの“わくわく”を満たす事業を実施します。
- (4) 産業文化センター(とよた科学体験館)では、どなたでも気軽に施設へアクセスできるバリアフリーな施設を目指し、施設への愛着や親しみを感じていただく機会を提供する「コモンズ プロジェクト」を実施します。また開館40年を経過し、施設の老朽化を改善する改修工事について、市と連携を密にして安心安全で快適な施設運営につながるよう進めます。

### 2 会議

#### 青少年育成委員会

名 称	期日	会 場	内 容
第1回 青少年育成委員会	5月	青少年センター 会議室	令和7年度事業報告について 令和8年度事業計画について 令和8年度事業視察について ほか
第2回 青少年育成委員会	9月		令和8年度事業視察について 令和9年度事業計画(案)について ほか
第3回 青少年育成委員会	2月		令和8年度事業視察について 令和9年度事業計画(案)について ほか

### 3 青少年センター

外部団体や民間事業者との共働など、これまで培ってきた当センターのネットワークを駆使し、様々なステークホルダーや豊田市の部署等との連携をもとに、若者支援のプラットフォームとして機能する施設を目指し、若者の成長を応援します。

事業面では、若者の育成段階に応じた事業を展開する中で参加者自身が主体的に活動する場づくりも意識しながら、若者の社会参加や課題解決に向けた取組を支援し、若者や活動団体の積極的な自主活動を促進します。

また、青少年育成委員会の事業評価をはじめ利用者、参加者等のニーズや活動のプロセス及びSDGsの達成目標を意識した施設運営に努めます。他県、他市の先進的な施設と積極的に交流を行い、当センター全体のレベルアップを図ります。

#### (1) 事業

「若者の社会参加の促進」、「若者の自立支援」、「居場所づくり」、「情報発信」の4本の柱を中心に事業を実施します。

##### ア 「若者の社会参加の促進」

意欲段階に応じ、若者が社会に接する機会の創出を行います。

##### イ 「若者の自立支援」

若者を取り巻く社会課題等に向き合い、若者の社会的自立を促します。

##### ウ 「居場所づくり」

若者に関する様々な講座や若者同士が「つながる」事業を実施し、青少年センターを居場所とする若者を増やします。

##### エ 「情報発信」

ボランティアの募集や各種イベント・事業・フリー開放（空き部屋活用）など、若者に有益な情報をSNS及びホームページを使って配信します。

#### (2) 施設運営

自主定期点検マニュアルに基づいた施設管理をはじめ、公共施設に必要な訓練、利用者ニーズを把握する利用者懇談会・アンケート等の実施を通して、合理的配慮の視点とともに常に安全・安心・快適な利用環境の提供を目指し、効率的な管理運営でサービスの向上に努めます。また、災害や事故に備えた危機管理意識を持ち、異常の早期発見・早期対処など予防保全に努めるなど日常管理の積み重ね、安定的で使いやすい施設運営につなげます。

### (3) 事業一覧

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、  
受託－豊田市等から委託を受けて実施する事業

【青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業】

事業名	期日	人数	内容		事業区分
【社会参加】 インターンシップ事業	夏期・春期	延べ 50人	豊田市及び近郊の高校・大学と連携し、就業体験等を通じて働くことや公共施設等への理解を深めるサポートを行う。 ※各回5人×5日間×2回	体験活動等	自主
【社会参加】 若者倶楽部	通年	420人 定例会 15人×12月 ×2回 イベント 30人×2回	大学生世代以上の若者が集まり、まちづくり等の社会参加型事業の担い手として活躍する機会を提供する。	講座、 セミナー、 育成	共催
【社会参加】 学生交流塾	通年	330人 定例会 10人×12月 ×2回 イベント 30人×3回	高校生以上の学生、生徒が学校や学年の垣根を越えて集い、柔軟な発想と軽快なフットワークとチームワークで「まちづくり」、「ボランティア」、「企業コラボ」等の活動を展開し、学生同士の交流を図る。	体験活動等	共催
【社会参加】 社会参加バンク	通年	登録者数 600人	ボランティアや地域イベントのお手伝い等を希望する若者と若者の力を求める団体をつなぎ、若者の社会参加を促進する。	体験活動等	共催
【社会参加】 活動支援事業	通年	2,500人	青少年団体、若者グループ、高校・大学のゼミ活動・クラブ活動等で、サロン等を活用して自己表現する機会、まちづくりイベント等を支援する。	体験活動等	共催
【自立支援】 若者応援事業	通年	延べ 300人	若者の社会的課題の解決を図り自立を促す事業、二十歳のつどいに関わる若者の巻き込みや、カフェ事業等で若者のつながりを創出し、気軽に集まり交流できる事業も実施する。	講座、 セミナー、 育成	共催
【情報発信】 とよた若者応援ネット 『プラス』	通年	—	LINEを活用した個人登録者の登録データとSNSを活用し、イベント情報、ボランティア情報、婚活情報等、青少年に有益な情報を数多く配信する。	その他	共催
【社会参加】 若者によるまちづくり 提案事業「WAKATTE」	5月～2月	—	豊田市の活性化や魅力発信に関する事業等の提案を募集する。審査を行い、提案実施支援金50万円を上限に提案を採択する。	体験活動等	共催
【社会参加】 高校生 ボランティアスクール	5月～3月	延べ 1,100人	市内高校と連携し、高校生がボランティア活動を行う機会を提供し、高校生の社会参加を促す。	講座、 セミナー、 育成	共催

【社会参加】 学生によるまちづくり 提案事業	6月～2月	延べ 168人	学生がまちづくりに関する考 え方や手法を学び、企画提案から 実現への取組を伴走支援する。 6団体（1団体4人）×7回	講座、 セミナー、 育成	共催
【居場所づくり】 種まき事業	年1回	延べ 20人	仲間づくり等若者に関する様々 な講座・イベントを開催し、青 少年センターを活動拠点として PRする。	講座、 セミナー、 育成	共催
【社会参加】 サークル・グループ 文化祭	1月	2,000人 (内訳) 参加者 200人 来館者 1,800人	青少年団体に組織する実行委員 会が企画運営し、日頃の活動を 広く市民へPRし、新規団体及 び新メンバーの獲得につなげる 機会とする。また、近隣大学・高 校等の若者に広く参加を呼びか け、利用促進の機会とする。	体験活動 等	共催
【自立支援】 若者未来塾（若者・外 国人未来応援事業）	通年 毎週水金曜 隔週土曜	延べ 200人	学力格差による貧困の解消につ なげるための学習支援事業。 高等学校卒業程度認定取得を目 指した支援を行うとともに、成 績不振の中高校生への支援も行 う。	講座、 セミナー、 育成	受託
【居場所づくり】 学習・卓球等若者 開放事業	通年	20,000 人	青少年に居場所を提供する事 業。 空き室を自主学習や音楽・ダン ス・演劇等の自主練習、仲間同 士の親睦の場として活用するほ か、定期的に卓球器具の貸出し （卓球開放）を行い、憩いの機 会を提供する。	施設の貸 与	受託

### 【青少年音楽団体の運営及び青少年団体に対する助言その他の支援を行う事業】

事業名	期日	人数	内 容	事業区分
豊田市青少年団体 傷害互助会事業	通年	—	豊田市内の青少年団体の活動を 支援するための互助会組織。 団体活動中に不慮の事故に遭い けがを負った場合の傷害見舞金 の支給。被保険者の過失による 活動中の死傷事故及び第三者の 財物の損害に対する賠償保険金 の支給。 ※会員25,000人	その他 自主
豊田市文化振興財団 大会	6月	—	優れた業績をあげた団体及び功 労者を称え表彰する。	その他 自主

レクリエーション 団体指導者派遣	通年	—	①レクリエーション指導者団体の情報交換（定例会）を行うとともに、子ども会等へ指導者を派遣し活動支援を行う。 ②青少年サークルをふれあいまつり等地域行事に派遣し、地域活動に若者の力を導入する。 ※①②計100回	相談・助言	共催
子ども会事務支援	通年	—	豊田市子ども会育成連絡協議会の事務局として運営を支援し、子ども会活動の活性化に寄与する。	相談・助言	受託

### 合 計

事業総合計	18事業	27,688人	
-------	------	---------	--

### (4) 利用予定 青少年センター

施設名	件数	人数	利用内容
会議室・音楽室 ・軽運動室等	7,000	62,000	会議・研修・バンド練習・ダンス等

### その他

施設名	件数	人数	利用内容
サロン・若者ルーム等	—	30,000	たまり場等

### 総合計

総合計	7,000	92,000	
-----	-------	--------	--

## 4 総合野外センター

六所山とその周辺の自然環境の中で、キャンプ、ハイキングそして自然観察などの野外活動を通し、遊び、学び、体験の機会と場を提供して、青少年の健全な育成と指導者の技量向上支援に努めます。

小中学校、青少年団体をはじめ、家族や小グループにも気軽に六所の自然に親しむことができるよう、わかりやすく、安全で使いやすい施設を整備し、安心と達成感そして幸福感のある施設利用を提供します。

また、令和6年の豊田市青少年育成施設条例改正により、利用対象が「0歳～29歳」と拡大しました。幅広い年齢層を対象とした事業展開を進め、これまでの団体利用の継続と、新たな利用拡大を推進します。

### (1) 事業

この施設の活動に精通した所員による事前打合せや直接指導を通して、教育課程に基づく小中学校の利用や、こども園、子ども会等の利用に込めた目的の達成を支援します。

野外活動を通して自然環境と向き合うことで、それを理解して「自然との共生」の大切さを感じる体験と、そこにある困難に仲間と協力して対処し「生きる力」を身に付ける体験を実施します。山遊び初心者から冒険少年まで、それぞれの“わくわく”を満たす事業展開をします。

### (2) 施設運営

近年問題となっている熱中症や従来からある野外活動の危険要素に対して、適切な対処を提案し、安心して施設を利用できる環境を整えます。

自然災害や老朽化により、利用障害となる施設設備の営繕や保全作業に努め、安全で快適な施設利用を担保して、利用者の活動目的達成に貢献します。

子ども、大人、障がいのある方、外国から来られた方等、あらゆる人が安心して楽しく利用できる施設を目指します。

市の所管課をはじめ関連する主体との連携を密にし、“安全”、“安心”な野外活動施設を提供します。また、これら関連主体や利用団体の意見を取り入れ、負担が少なく、より効果的な活動プログラムの開発・提案と、施設の更なる有効活用を進めます。

### (3) 事業一覧

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、  
受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

【青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業】

事業名	期日	人数	内 容	事業区分
体験学習講座 支援事業	年3回	45人	野外センターの自然や里山環境を活かした体験活動型の講座、研修会をサポートする。 ※各回15人	体験活動等 自主
大学連携事業	6月～3月	24人	自然体験活動や社会教育士資格取得を目指す大学生の実習(県内の大学と共同事業)をサポートする。また実習で大学生が企画したイベントを、大学と共同開催する。	体験活動等 自主
アウトリーチ講座 応援アウトドア	年3回	45人	当センターのプログラムやノウハウを使ったミニ野外活動体験会や講座などに、職員を講師として派遣する。 ※各回15人	体験活動等 共催
野外活動体験塾	年3回	30人	不登校やひきこもり、障がいのある青少年の支援団体や保護者グループの野外活動を支援する。 ※各回10人	体験活動等 共催
六所であそぼう	4月 8月 11月 2月	176人	小学校低中学年を対象とした日帰り自然体験事業を実施。自然の中での遊びを通して、野外活動に親しむ感覚を育む。 ※全4回 各回44人	体験活動等 共催
六所でキャンプ	5月 7月 12月	108人	小学校中学年から中学生までを対象とした、宿泊の自然体験事業。キャンプ体験を通して野外活動の楽しさや難しさに向き合いながら、自主性や協調性を育む。 ※全3回 各回36人	体験活動等 共催
親子自然体験塾	10月 12月	54人	自然体験を深めたい家族を対象とした事業。「自然」や「里山」をテーマにしたアクティビティを通じて、感動や喜びを共有し、家族のきずなを深める。 ※全2回 各回9家族27人	体験活動等 共催
チャレンジキャンプ	8月	36人	小学校中学年から中学生に向けた、ステップアップ事業。長期キャンプで、仲間や困難とじっくり向き合う時間を創出。連帯感や達成感を味わうことにより、忍耐力と自己肯定感を育む。 ※全1回	体験活動等 共催

山の子学級	1月～3月	108人	小学校中学年から中学生に向けたレベルアップ事業。仲間との継続的な活動、長期スパンを活かした計画により、自ら考える時間を創出。仲間や自然への愛着、野外活動の企画や運営などへの興味の芽生えを育む。 ※各回36人	体験活動等	共催
高校生ボランティアスクール	5月～3月	110人	青少年センター事業「高校生ボランティアスクール」の野外センターコースを実施する。キャンプ場の仕事を体験する場を提供する。 ※各回10人	講座、セミナー、育成	共催
森の音楽会・森と絵本	10月 11月	90人	自然体験への導入事業。「自然」をテーマにした音楽会や絵本の読み聞かせと、会場となる環境の相乗効果により、五感を刺激。豊かな感性を育む。 ※各回15家族45人	体験活動等	共催
六所山キャンプクラブ	8月 12月 3月	30人	中学生から大学生までを対象に、野外活動の継続を期待する声に応える事業。希望者でグループを作り、キャンプを計画。技術の向上や指導者養成の入門編として実施。 ※各回10人	講座、セミナー、育成	共催
キャンプスタッフプログラム研修会	年2回	16人	共催事業のサポートをする大学生を対象に、特に安全面を重視した事前研修を行う。 ※各回8人	講座、セミナー、育成	共催
キャンプスタッフトレーニングキャンプ	5月 7月 9月	120人	キャンプスタッフに必要な知識や技能を獲得するとともに、野外活動に対する意欲向上を図る。また、キャンプスタッフ間の連携を深める。 ※各回40人	講座、セミナー、育成	共催
キャンプインストラクター養成講習会	2月	30人	愛知県キャンプ協会と連携して野外活動の基礎的な知識や技能の実践的な講習を行い、野外活動を支援する指導者を養成する。 ※全1回	講座、セミナー、育成	共催
小中学校等野外活動直接指導	通年	7,300人	こども園、小中学校、青少年団体等の活動支援として、専門知識を有した職員が直接指導を行う。	体験活動等	受託

## 合 計

事業総合計	16事業	8,322人			
-------	------	--------	--	--	--

#### (4) 利用予定

施設名	件数	人数	利用内容
自然の家	200	8,000	宿泊研修等
キャンプ場	400	16,000	野外活動等
運動広場	20	6,000	軽スポーツ等
資料館	20	700	動植物標本・民芸資料の展示
多目的ホール	50	2,900	軽スポーツ・雨天時等の活動等
研修室	30	1,600	軽スポーツ・雨天時等の活動等
計	720	35,200	

## 5 産業文化センター（とよた科学体験館及び喜楽亭を含む。）

市民の心の豊かさや幸福の追求と合理的配慮の視点を取り入れ、あらゆる市民に開かれた施設を目指します。また、文化活動や中心市街地活性化に向けた取組などの多様な利用者ニーズに対応し、多機能な複合施設としての特色を踏まえた施設運営を行います。

施設面では長寿命化改修工事に向けて、市との調整を緊密に取り組みます。更に建築物等適正管理マニュアルに基づく自主点検を定期的を実施し、不具合箇所の早期発見、早期対応に努め、「安全」・「安心」・「快適」な施設の提供に注力します。

とよた科学体験館は、市の科学教育を担う中心施設として、幼児から青少年や高齢者までの多様な市民が気軽に科学に触れる機会拡充に努めます。教育的な事業のみならず、こどもの声を聴き、皆が体験することによって、誰もが新しい発見と驚きに出会い、日常の中で科学を楽しめる喜びの創出に取り組みます。

また、文化的建造物（国の登録有形文化財）である喜楽亭では、施設の特徴を生かした文化・伝統行事体験事業を実施します。

### （1）事業

産業文化センター・科学体験館・喜楽亭へ、どなたでも気軽に施設へアクセスできるバリアフリーな施設を目指し、館内の掲示物や配布物、事業チラシ等の優しい日本語化や多言語化、合理的配慮の他、様々な取組により施設への親しみを感じていただく機会提供を推進する「コモンズ プロジェクト」を実施します。

科学体験館では、天文・サイエンス・ものづくり事業において、市民ニーズを考慮した多種多様な事業展開を図ります。

天文事業では、幅広い年代が楽しめる特別プログラムとして「いろいろプラス ネタリウム」などの開催により、新たな顧客開拓とリピーターの獲得に努めます。

サイエンス事業では、最先端科学や注目度の高い分野の講師を招く「サイエンスセミナー」、地元企業の科学技術などを体験するワークショップ「レッツ・エンジョイ・サイエンス」を開催し、次世代を担うこども達がサイエンスやものづくりへの好奇心、モチベーションを向上させる機会を提供します。

喜楽亭では、施設の特性を活かした「喜楽亭茶会」を開催し、市民の文化体験の機会を提供するとともに、文化的建造物の認知を高めます。

### （2）施設運営

開館40年を経過し、老朽化の改善に向けて、利用者の視点で市当局との調整に注力します。また、複数の公共機能を有した複合施設の建物設備全体を包括的に維持管理し、管理経費の節減を図るとともに、施設全体の連絡会議を定期的で開催し、情報共有を図ります。更に中心市街地にある大型施設として、有料駐車場の管理や災害時の帰宅困難者対策への協力を行います。

### (3) 事業一覧

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、  
受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

【青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業】

#### ア 科学体験館事業

事業名	期日	人数	内 容	事業区分
社会包摂推進事業 commons プロジェクト (体験館・産文・喜楽亭)	通年	—	科学体験館、産業文化センター、喜楽亭すべての業務を対象とし、館内の掲示物や配布物、事業チラシなどの優しい日本語化や多言語化、障がい者の事業参加への配慮、どなたでも気軽に来館できる機会の提供による創客を推進し、その成果を市民へ情報発信する。	体験活動等 自主
こども園アウトリーチ事業	通年	750人	こども園に出向き、園児に科学の不思議をショー形式で紹介する。実験を通して楽しみながら科学への興味を深める。 ※50人×15園	体験活動等 自主
ミニワークショップ	通年	18,000人	短時間でできる科学的要素を取り入れた簡単な工作教室を開催する。	体験活動等 自主
ものづくりフェスタ 2026	年1回	120人	ものづくりフェスタ実行委員会主催のイベントに実行委員の派遣とブースの出展協力をする。	体験活動等 自主
プラネタリウム投映事業	通年	30,000人	当日夜の星空解説と、迫力のある全天周シミュレーション映像体験を通じて天文や宇宙への興味・関心を深める。一般・団体・学習などのニーズに対応した解説や全天周番組投映、シミュレーション映像投映を開催する。	体験活動等 受託
サイエンスショー	通年	20,000人	一般・団体向けに、実験によって科学の原理を紹介する実験ショーを開催する。	体験活動等 受託
ワークショップ	通年	200人	主に小・中学生向けに科学やものづくりの楽しさを体験できる実験・工作教室を開催する。 ※20人×10回	講座、セミナー、育成 受託
サイエンススクール	通年	200人	中学・高校の科学部等を対象にした学習会を開催し、その成果発表の場として、サイエンスショー発表会（カーニバル）を開催する。	講座、セミナー、育成 受託

展示整備事業	通年	—	展示品の製作検討や既存の展示物の点検・修理を行うため、定期的に展示整備委員会を開催する。	体験活動等	受託
出前天体観測会	年10回	700人	小学校や交流館に出向き、天文の話や天体望遠鏡による観望会を開催する。 ※70人×10回	体験活動等	受託
街中の星見会「まちぼし」	年10回	700人	天体望遠鏡を使って街中でも気軽に観測できる月や惑星を見る観望会を開催する。 ※70人×10回	体験活動等	受託
サイエンスクラブ初級コース	年5回	120人	小学3・4年生向けに、年間を通して、科学全般に関する実験・科学工作の講座を開催する。※24人×5回	講座、セミナー、育成	受託
サイエンスクラブ中級コース	年5回	120人	小学5・6年生向けに、年間を通して、科学全般に関する実験を中心とした講座を開催する。※24人×5回	講座、セミナー、育成	受託
アストロクラブ初級コース	年5回	250人	小学校4年生から6年生までを対象にした天文教室。天文の基礎知識や星座の見つけ方などを学ぶ講座を開催する。 ※50人×5回	講座、セミナー、育成	受託
アストロクラブ中級コース	年5回	100人	小学校5年生から中学生までを対象にした天文教室。望遠鏡等の活用の仕方を通して、天文の楽しみ方を学ぶ講座を開催する。 ※20人×5回	講座、セミナー、育成	受託
科学ふらっとときかく展	年4回	—	天文、サイエンス等に関する様々な資料を展示したり体験することにより、気軽に科学に触れる機会を増やし関心を高める。	体験活動等	受託
いろいろプラスネタリウム	年3回	360人	プラネタリウムならではのテーマやタイムリーな話題を取り上げ、幅広い年代向けにライブ感を生かした特別投映を開催する。 ※120人×3回	体験活動等	受託
スペシャルサイエンスショー	年2回	280人	外部講師による特別イベントを開催する。 ※70人×2回×2日	体験活動等	受託

発見科学コーナー	年2回	—	常設展示より質の高い体験学習を開催する。体験館ならではの物や職員による専門的な解説で当館の魅力を発信する。	体験活動等	受託
みんなで！サイエンスショー	年2回	200人	サイエンスショー後に、ステージで動きや反応を楽しむことができる体験学習を提供する。	体験活動等	受託
学習指導要領発展事業	年1回	12人	小学4年生から6年生までを対象に、理科の学習指導要領の理解をより深めるためのワークショップを開催する。	講座、セミナー、育成	受託
サイエンスセミナー	年1回	150人	「科学を文化として楽しもうプロジェクト」の一環として、最先端科学の研究者や注目度の高い技術分野の専門家を講師に招き、講演会を開催する。 (会場：小ホール予定)	講座、セミナー、育成	受託
親子天文教室	年1回	100人	親子を対象に季節の星空や宇宙の話題をわかりやすく紹介するイベントを開催する。	体験活動等	受託
プラネタリウムコンサート	年1回	240人	プラネタリウムの星空のもと、星座解説やプロの音楽家の生演奏のコンサートを開催する。 ※120人×2回	体験活動等	受託
レッツ・エンジョイ・サイエンス	年1回	100人	「科学を文化として楽しもうプロジェクト」の一環として、地元企業の科学技術やタイムリーな科学テーマに関する技術者を指導講師に迎え、子どもから大人まで楽しめるワークショップを開催する。 (会場：多目的ホール予定) 25組50人×2回	体験活動等	受託
発展理科講座	年1回	12人	多くの年代の市民が参加できる理科実験を使ったワークショップを開催する。	体験活動等	受託

## イ 喜楽亭事業

喜楽亭茶会	年3回	360人	茶友会と連携し、季節ごとに特色ある茶会や子どもによる茶会を開催する。 5月、11月、2月開催予定	体験活動等	受託
-------	-----	------	---	-------	----

## 合 計

とよた科学体験館 計	26事業	72,714人	
喜楽亭 計	1事業	360人	
事業 総合計	27事業	73,074人	

## (4) 利用予定

施設名	件数	人数	利用内容
小ホール	200	20,000	講演会・発表会
多目的ホール	270	20,000	展示会・研修会・パーティー等
プラネタリウム	750	50,000	学習投映・一般投映等
サイエンスホール	320	150,000	学習見学・一般見学等
喜楽亭	150	10,000	茶会・講座等
その他	4,400	150,000	中日文化センター等
計	6,090	400,000	